

資料に親しむ会 令和3年度第3回

「終戦直後の資料に親しむ～昭和21年(1946)を中心に～」

京都府立京都学・歴彩館職員が「終戦直後の資料に親しむ ～昭和21年(1946)を中心に～」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和3年10月12日(火) 14:00～15:00

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 参加者 33名

■ 内 容 昭和21年(1946)に作成された資料に注目し、その内容について行政文書から「食料援助」「伝染病」「旧軍用地の活用」に関連する資料、佐々木惣一の講演、『都新聞』の記事をとりあげて紹介した。これらの資料を通じて昭和21年という年の世相や雰囲気について紹介・解説した。

■ 参加いただいた方々のご意見 (参加者アンケートより)

- 昭和21年の日本の状況がさまざまな視点から浮かび上がり、新鮮な知見を得た。
- 戦後の食糧問題、衛生環境などがよく分かった。
- 都新聞の創刊号の展示は興味深かった。
- 戦後の多岐にわたる状況がよく分かり大変興味深かった。

(講座の様子)

